

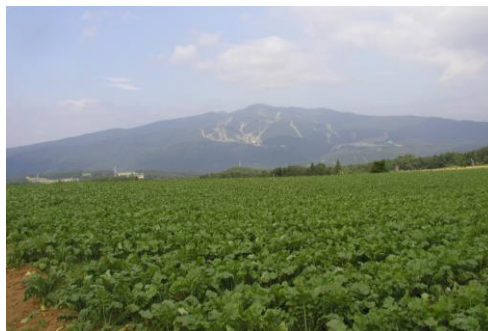
# 第1章 郡上市の景観

## 1. 郡上市の景観構造

- ・本市は、市域の約9割を山林が占める山岳丘陵地帯であり、市域の大部分が長良川の源流域を形成しています。市内には“清流”長良川をはじめ、和良川、石徹白川など、24本の一級河川が流れており、これら河川によって形づくられた幾つもの谷筋に集落が形成されています。このような両側に山が迫った方向性の強い景観が郡上市の景観の特徴となっています。
- ・これら谷筋の中で、長良川、吉田川、和良川沿いは比較的谷幅が広く、地域間を繋ぐ主要道路（国道）が走っており、最も大きな谷筋である長良川沿いの平地に人口が集積している市街地が形成されています。
- ・また、本市は市の最北部である白鳥町石徹白地域の銚子ヶ峰と、最南部である美並町地域の木尾で標高差が1,700mと起伏に富んだ地形となっており、大規模な耕作地や別荘地等が展開する高鷲地区のひるがの高原、上野高原、明野高原といった高原地の伸びやかな景観は谷筋の景観とは表情が異なります。
- ・以上のような地形、およびその上で営まれてきた人々の活動により形成された郡上市の景観は、大きく「山林景観」「高原・リゾート景観」「谷筋集落（洞）景観」「沿道集落景観」「市街地景観」の5つに区分して考えることができます。



山林景観



高原・リゾート景観



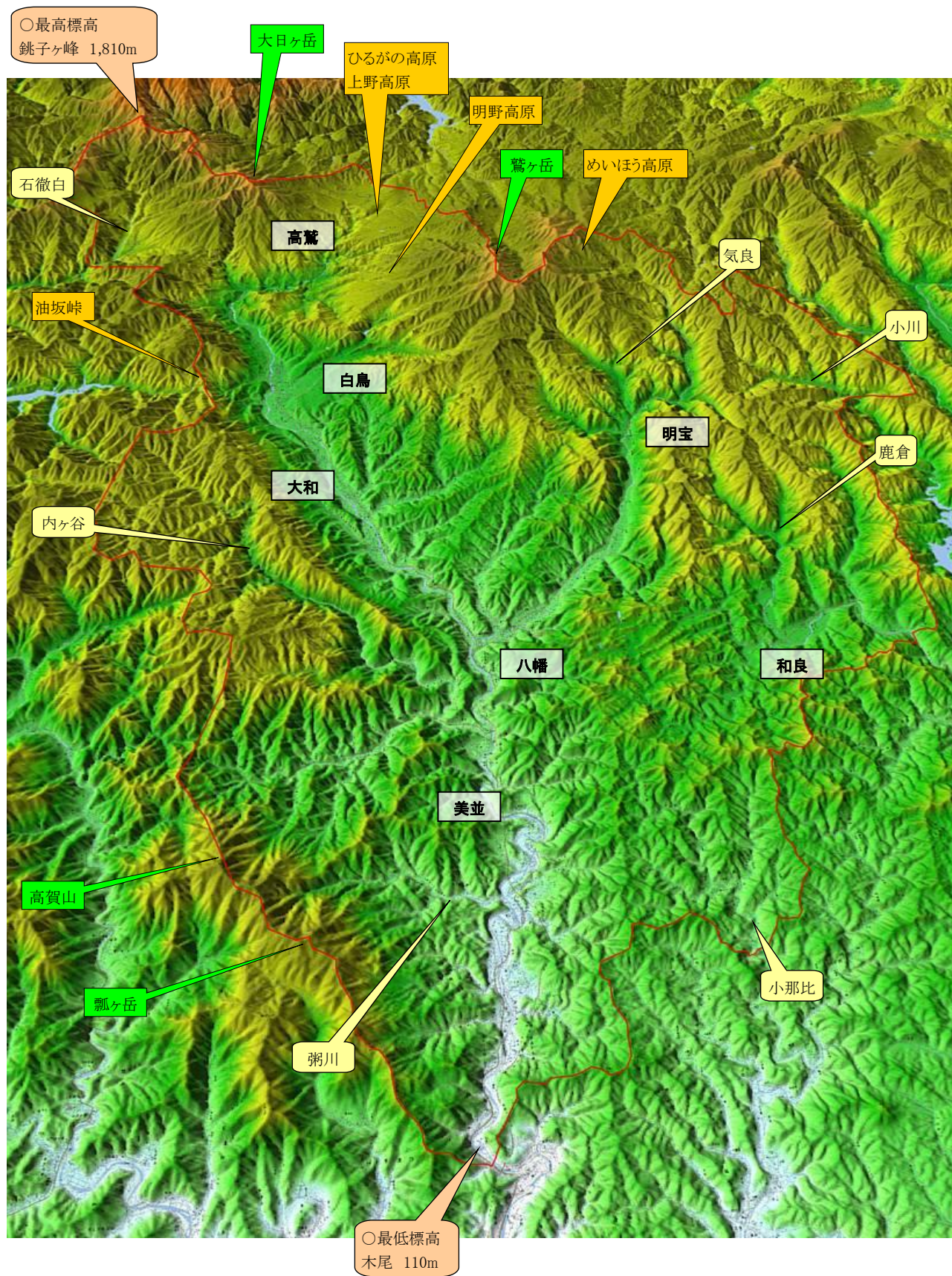
谷筋集落（洞）景観



沿道集落景観

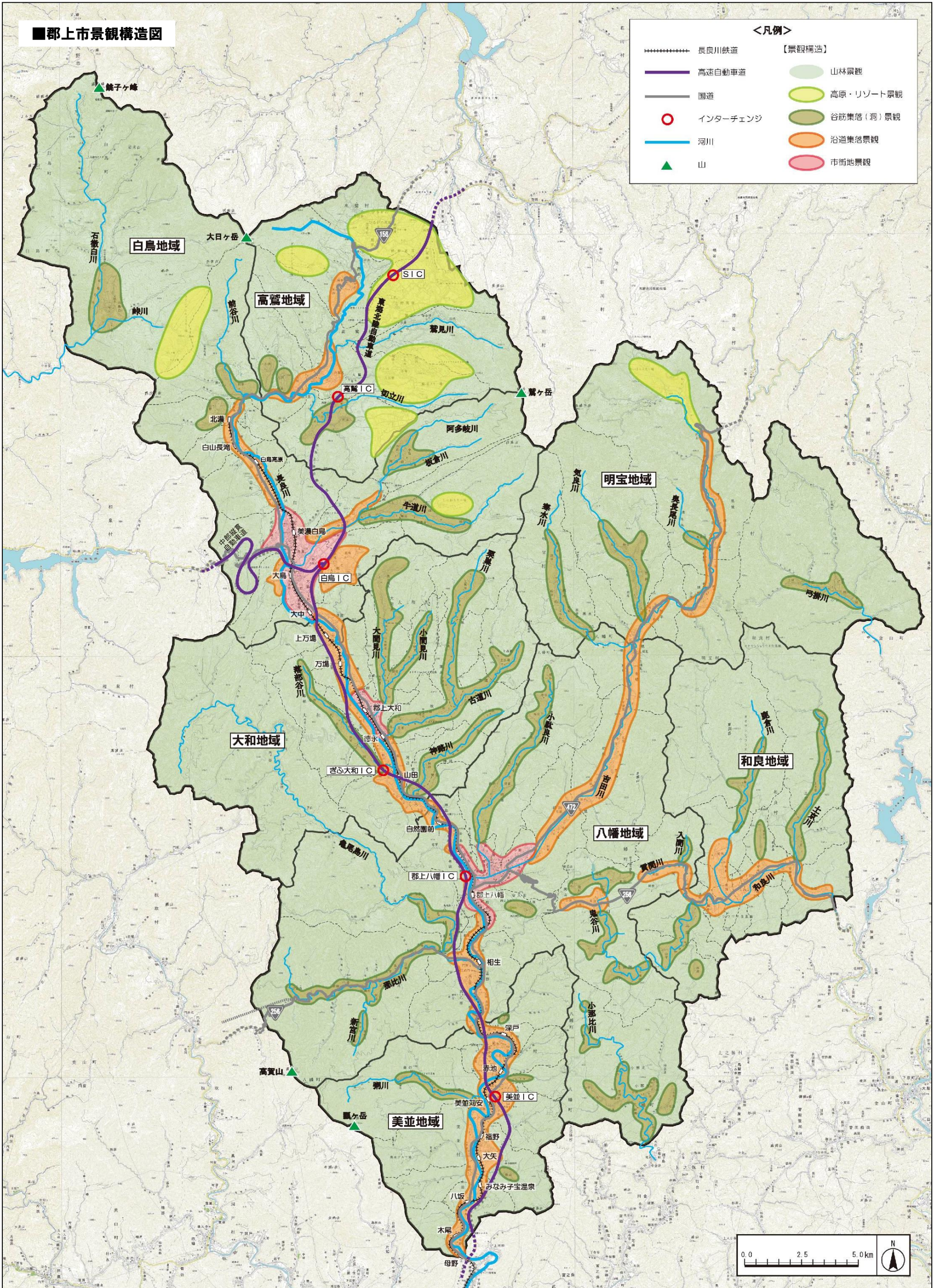


市街地景観



■郡上市景観構造図

<凡例>			
	長良川鉄道	<b>【景観構造】</b>	
	高速自動車道		山林景観
	国道		高原・リゾート景観
	インターチェンジ		谷筋集落(洞)景観
	河川		沿道集落景観
	山		市街地景観



## 2. 景観構造別の景観的特徴

### (1) 山林景観

- ・市域の約9割を占めており、郡上市の景観の基調をなしています。
- ・市街地や集落景観の背景となっており、市内のどこにいても眺められます。
- ・特に東海北陸自動車道からは連続的に山林景観が眺められ、郡上市の景観を印象付ける重要な景観要素となっています。



(小川峠からの眺め)



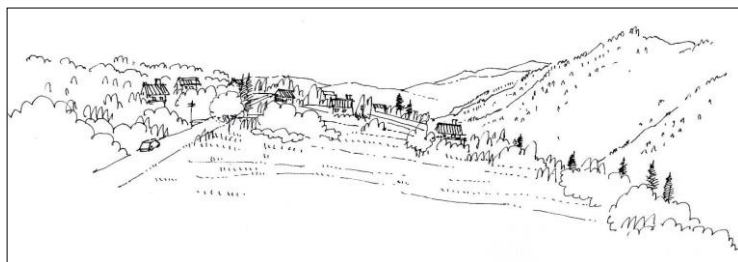
(牧/大和町)



(小川/明宝)

### (2) 高原・リゾート景観

- ・主に高鷲町のひるがの高原、上野高原、明野高原といった高原上の景観であり、高冷地野菜の大規模な耕作地や、スキー場、別荘地といったリゾート地としての土地利用が見られます。



- ・緩やかな起伏のある地形で、広々とした開放感のある景観が展開しています。
- ・視界を遮るものが少なく、遠方の山並みの稜線が美しいスカイラインを形成しています。



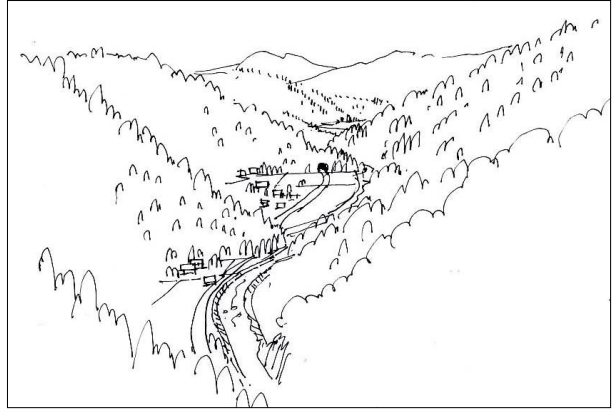
(上野/高鷲町)



(ひるがの/高鷲町)

### (3) 谷筋集落（洞）景観

- 山間を流れる河川沿いの谷筋に形成されている集落の景観であり、細長い形態で空間的な方向性が強いことに特徴があります。また、谷地に急峻な山が迫っており空間全体が狭く、囲まれ感やまとまり感が強く感じられます。
- 郡上市内に数多く存在する景観構造であり、郡上市の景観を特徴付けています。
- 山（里山）、集落、農地、川が一体となった空間構造で、特に谷筋上流側の集落は、昔ながらののどかな農山村景観が残されています。
- 限られた土地を有効に利用するために、棚田や段々畑が形成されている場合も多くみられます。



(気良/明宝)

### (4) 沿道集落景観

- 郡上市の中では比較的谷幅が広く、広域を繋ぐ道路（国道）が通る長良川、吉田川、和良川沿いに形成されている集落の景観です。
- 交通量が比較的多い道路沿いに立地していることから、当該タイプの景観は、地域のイメージを形成する上で重要な位置づけとなります。



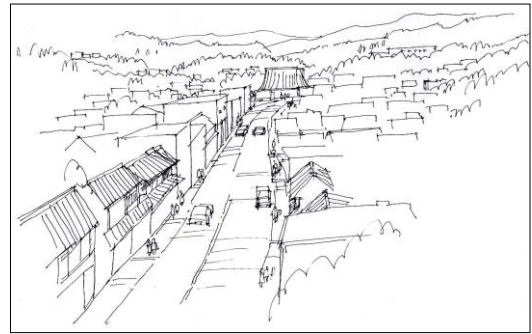
(相戸/美並町)



(福野/美並町)

## (5) 市街地景観

- ・人口および行政・商業サービス機能が集積し、建物が連担している地区の景観で、八幡町、大和町、白鳥町の中心部およびその縁辺部の景観が市街地景観に該当します。
- ・出桁や連子格子、袖壁等を有した木造二階建ての建築物が連続する町並み景観が、歴史的な趣を演出しています。
- ・一方、縁辺部では近代的な建物が立ち並び、無秩序に市街地が拡大している地区も見られます。また、道路沿いに様々な規模、形態、色彩の屋外広告物が掲出されており、雑多な印象を与える地区も存在します。



(八幡町市街地)



(小野/八幡町)

### 3. 良好な景観形成を図る上での現状の課題例

#### ○中心市街地における空き家・空き店舗の増加

山間部の集落や中心市街地では空き家や空き店舗が増加しており、放置され荒廃が進む家屋や町並みの活気を損なう空き店舗の存在が良好な景観形成を図る上での課題となっています。



#### ○市街地郊外部における無秩序な宅地化の進行（スプロール化）

一部の市街地郊外部では、農耕地に無秩序に住宅等が建てられている状況が見られ、土地利用の適切な規制・誘導が課題となっています。



#### ○沿道における看板類の乱立

国道等の幹線道路の沿線に、規模が大きく景観的に目立つ看板類が乱立している区間が見られ、沿道景観に煩雑な印象を与えています。



#### ○高原地における無秩序な別荘地開発（狭小区画の別荘地開発）

高原地において、狭小区画の別荘地が無秩序に開発されている現状が見られます。



#### ○耕作放棄地の増加・太陽光発電設備の設置

耕作放棄地が増加し、農山村の景観に荒廃した印象を与えています。また、こうした耕作放棄地に太陽光発電設備が設置されるケースも増加しており、適切な規制・誘導が課題となっています。



#### ○農地における土石や廃棄物等の堆積

耕作放棄地等の目立つところに土石や廃棄物の堆積が行われている場所も見られ、景観的に煩雑な印象となっています。

